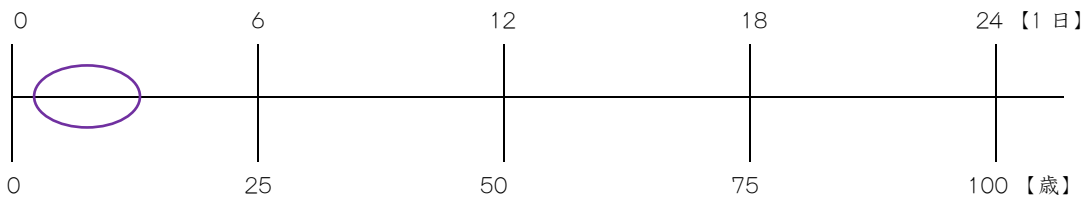


「人生時計」 ～子どもは まだ夜明け前～

新学期がスタートして約2ヶ月が経とうとしています。はりきって頑張っている姿が目立った4月でした。5月も続けて頑張る姿が多く見られます。あいさつや切り替え(けじめ)、そうじなど、“あたりまえ”のこととして善行や気持ちのよい言動ができている人は素晴らしいです！ただ、連休明けの姿には当然のことながら少し変化も見られます。少し疲れた時、イライラしている時には、マイナスの言動が出てしまったり、できない場面が増えたり…。子どもに限らず大人にも当てはまりますよね。これは、ありのままの人間の素の姿です。

「〇年生になったのに、こんなこともできません」「このままで大丈夫でしょうか」と心配する声を聞くことがあります。しかし、今、大切なのは我々大人が過剰に不安がることではなく、『子どもたちの人生はこれから始まる』という前向きな姿勢を持つことではないでしょうか。そこで、私が教員になって間もない20代の頃に聞いて、今も心に残っている「人生時計」の話を用いて紹介します。



人生100年時代の今を1日24時間にあてはめると、小学1年生は午前1時ごろ。6年生でも午前3時前、まだまだ「夜明け前」。その日一日を元気に過ごすために、睡眠をとり、エネルギーを蓄えているところなのです。多くの保護者のみなさんでさえ、まだ午前中、お昼頃です。午後からの活動に向けて頑張ろうとしているところなのです。

私自身の今をあてはめると、お昼ご飯を食べ終わった午後1時頃と言ったところでしょうか。お腹も満たされ、午後へのやる気をチャージした至福の時間です。

子どもはまだ「夜明け前」。これから素晴らしい人生が始まる場所です。大きな夢や希望に満ちた人生を送れるよう、子どもたちを支え、寄り添う親であり、それを共に全力で支援できるプロの教員でありたいと思います。



5月の輝く 広戸っ子

5/1 なかよし給食



5/7、5/21 読み聞かせ



5/8 なかよしタイム～けん玉～



5/15 交通安全教室



5/18 プール掃除



広戸小
ホームページ
HP

